

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	こどもサポート教室「きらり」磐田駅前校		
○保護者評価実施期間	2024年 11月 1日		2024年 11月 30日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	51	(回答者数) 40
○従業者評価実施期間	2024年 11月 1日		2024年 11月 18日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数) 5
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 1月 13日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・様子を観察し、無理のない活動の提供や利用児の要望を取り入れた支援を心掛けています。	・支援担当だけでなく、複数の指導員での出迎えや明るい挨拶、気軽な声掛けなど安心できる雰囲気作りに努めています。 ・利用児の言葉に耳を傾け、気持ちを受け止め認めることを常に意識して対応しています。	・アセスメントツールや話し合いを用いて、本児の性格や課題の把握を深め、意欲的に取り組めるような支援をおこなっていくとともに、関係機関との連携を図っていきます。
2	・指導員の強みや得意を活かし、様々な支援を実施しています。また、「楽しい」と利用児が思っていたりするような内容を工夫しています。	・指導員の苦手なことをあえてプログラムに取り入れ、一緒に協力したり、「誰でも失敗することもある」「苦手なこともある」という安心感を与えたりすることができるようにしています。	・職員間での情報連携、支援内容のバリエーションを増やすなどチームとして療育の質を向上していくために、内部研修や職員間での支援見学などを実施しています。
3	・療育室が多く、1人ひとりに十分なスペースを提供し、個別の空間で安心して取り組めるようにしています。	・その日の活動内容によって使用する療育室を相談しあい、安全面にも配慮しながら、落ち着いて過ごすことができるような配置を工夫しています。	・同室で実施する児が落ち着いて過ごせるような空間の工夫(パーティションの導入など)や身体にあった机、椅子、道具の提供をおこなっていきます。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・特性や関係機関などについての専門的な知識を深めることにより、説得力のある助言を実施することができると思います。	・基礎知識を得る機会や、共通認識をもつ機会が少なかったと感じています。	・職員の経験や資格を活かした対応方法や基礎知識を学ぶ場を設けていきます。また、必要な資料を揃えていきます。
2	・保護者向けイベントや小集団活動を実施する機会が少ないと感じている。	・異動に伴う職員配置の変更があり、土台を培うことに尽力したため、十分な企画を立案することができなかったためと考えています。	・大きなイベントではなく、定期的に小規模での集団活動を計画に取り入れていきたいです。また、保護者の不安の軽減や居場所作りとしての企画を考えて実施していきます。
3	・誰が見ても分かりやすい環境の構造化、衛生面の向上。	・危険軽減のための配慮や、わかりやすい教材配置などの構造化ができていなかったためと考えています。また、こまめなゴミ捨てなど衛生面への意識が足りなかったと思います。	・構造化、衛生面などについて指導員間で共有し、1人ひとり意識を持ち、取り組みます。また、限られた環境でよりよい支援ができるよう工夫していきます。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 こどもサポート教室「きらり」磐田駅前校

公表日 2025年 2月 15日

利用児童数

56

回収数

40

	チェック項目					ご意見	ご意見を踏まえた対応
		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制 整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	37	2	0	1	・子どもの活動スペースを限られた中で工夫して作れていると思います。 ・机上の時は問題ないですが、身体を動かすものに關してはスペースが十分ではないように思う。	・運動の際には危険が無いよう机などを移動し、十分に配慮しながら今後も実施していきたいと思えます。 ・限られたスペースを有効に使うことができるよう今後も職員で工夫していきます。
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	36	0	0	4	・自分の子どもが通っている日には、手厚いくらいの人員が配置されています。 ・利用者の人数と職員の人数をしらない為、わかりません。	・現在、児童発達支援管理責任者1名（管理者兼務）、児童指導員3名、保育士1名、作業療法士1名が在籍しております。 ・今後も指定基準を遵守し、安心して過ごせるよう努めていきます。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	32	6	0	2	・障害特性に応じて解かりやすく設備が整っていると思います。	・今後も、皆様にわかりやすい掲示、案内を実施できるような努めていきます。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	36	2	0	2	・清潔で整理された整った空間となっています。	・毎日の清掃に加え、消毒やゴミ捨てなど今まで以上に衛生面への意識をもって取り組んでいます。
適切 な 支 援 の 提 供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	36	2	0	2	・子どもの特性を理解して成長に応じて対応してくれます。 ・子どもの苦手な部分を考慮して、課題にしている。ただ、中にはどういふ意図をもってやっているのか分からない取り組みもある。	・支援内容については、職員で話し合い実施しながら当日の担当指導員が決めております。分かりづらい部分もあり、申し訳ありません。保護者への丁寧な説明を今後も心掛けていきます。
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	36	1	0	3	・定期的に支援プログラムを保護者に伝えてくださり、計画に沿った支援をしてくれます。	・毎利用時の申し送りで支援内容を説明しております。今後も、丁寧な支援をおこなってまいります。
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	39	1	0	0	・家庭や学校での様子を含めて保護者の抱えている困りごとを計画書に反映してくれています。 ・面談を通して、保護者のニーズや課題を含めてたてていただいている。	・ありがとうございます。今後も保護者の方と連携を密にとりながら、利用児にとって将来を見据えた課題、ニーズをふまえた計画作成を実施していきます。
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	37	2	0	1	・様々な場所、観点から支援内容が設定されていると思います。	・同上
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	38	1	0	1	・定期的に保護者と面談があり、計画書に沿った支援をおこなっていただいていると思います。	・今後も、職員間で話し合い安定した支援をおこなうことができるよう知識、技術の向上に努めてまいります。
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	35	2	0	3	・本人の成長に応じて支援計画書を更新してくれています。	・これからも利用児が「楽しい」と笑顔になれるような支援を提供できるようにします。
	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	16	5	9	10	・地域の子どもの交流はありませんが、定期的に集団療育をおこなっていただいています。 ・同じデイサービス利用の児童とは交流があるが、それ以外はないと思う。 ・息子の時間があわないのか、まだ交流や活動の機会はありません。	・現在、地域交流は実施していませんが、今後要望をふまえて検討していきたいと思えます。
保 護 者 へ の	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	40	0	0	0	・利用する際に、支援プログラムについて丁寧な説明がありました。	・契約時に説明を実施し、玄関に掲示するなど閲覧できるようにしています。
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	39	1	0	0	・定期的に支援内容について説明があります。	・職員間での内容の理解に努め、より計画に沿った支援を提供できるようにします。
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	24	6	0	10	・あまりないと思う。	・現在は支援見学や個別面談の実施や、日々の申し送りにて助言等をさせていただいております。今後も、このような機会の周知や、企画を考えていきたいと思えます。
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていますか。	38	2	0	0	・毎回、利用時に子供のコンディションを含めて状況を伝えてくれます。 ・利用日にその日の様子を丁寧に説明してもらっているので、子どもが今興味があることや得意不得意がわかる。	・ありがとうございます。今後もより良く、丁寧に支援に関わってまいりたいと思えます。
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	33	4	0	3	・定期的に面談や支援計画の見直しがあります。	・半年に1回の面談を通して、保護者とじっくり話をする機会を設けています。また、希望によって面談も受け付けています。気軽にお声がけください。
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	38	1	0	1	・職員は、相談に対して共感し前向きにアドバイスをさせていただきます。	・今後も皆様が安心できるような言葉かけや助言ができるようにしていきます。

の 説 明 等	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	18	9	1	12	・保護者会など聞いてほしい。 ・兄弟同士の活動が今より増えると有り難いです。 ・兄弟向けのイベントや交流はない。下に兄弟がいるので、これから大きくなった時に関係がどうなるかが不安ではある。 ・都合があれば参加したいです。	・保護者会やイベントなどを通して、できるかぎり交流ができるよう検討していきたいと思っています。
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	38	1	0	1	・その都度、家庭や学校で困りごとがあった際に相談できる環境があります。	・今後も利用児、ご家庭に寄り添った支援を心掛けていきたいと思っています。また、様々な情報、助言を提供できるよう努力していきます。
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	40	0	0	0	・報告、連絡、相談ができる配慮がされています。	・同上
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	33	3	0	4	・今よりも電子化して活動内容を伝えてくれると有難いです。 ・LINE開設があり、何か変更やお知らせがあればわかるので助かっている。	・今後もLINE、ブログ、Instagramなどを通して迅速な情報伝達ができるよう尽力していきます。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	37	1	0	2		
非 常 時 等 の 対 応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	36	1	0	2		
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	35	1	0	4		
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	37	1	0	2		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	35	1	0	5		
満 足 度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	38	2	0	0	・児童発達支援の時から利用しているので、子どもは馴染んで通っています。 ・先生や通所している友達とも仲良くなり、安心して通っていると思う。	・ありがとうございます。今後も何でも話ができるような安心感を与えることができるよう職員みんなで努力していきます。
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	34	6	0	0	・毎週、通所を楽しみにしています。 ・先生たちから優しく分かりやすく指導していただけるので、毎週嫌がることなく通えています。夏祭り等とても喜んでいました。	・利用児の楽しさを共有し、笑顔が増えるような支援内容を計画していけるようにします。
	29	事業所の支援に満足していますか。	36	4	0	0	・全体的に事業所の支援に対しては満足しています。 ・毎回丁寧に説明していただけるので、何処まで理解できているのか分かってありがたいです。何より子どもが笑顔で楽しんで学べている姿を見れ、感謝しかありません。 ・児童管が変わってから、事業所の雰囲気や活動内容、イベントも楽しいものが増え、親子で通所を楽しませていただいています。いつもありがとうございます。	・ありがとうございます。今後も利用児が安心して通所し、保護者の方も相談しやすい雰囲気を心がけ、よりよい支援を提供できるよう頑張ります。今度もよろしくお願いたします。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		こどもサポート教室「きらり」磐田駅前校			公表日	2025年 2月 15日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
		環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5	0	・適切な広さを確保できるようにし、その日の活動内容に応じて使用する支援室を決めています。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	5	0	・児童発達支援管理責任者1名(管理者兼務)、児童指導員3名、保育士1名、作業療法士1名が現在在籍しています。また、基準を遵守した人数を日々配置しています。		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	4	1	・段差など危険箇所には掲示物で意識を促しています。また、階段には手すりが設置してあります。	・事務室や教材スペースの境界をわかりやすくしたい(パーテーションなどの活用)	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	5	0	・毎日、清掃と消毒を実施しています。また、活動内容によって机を移動するなど環境づくりに配慮しています。		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5	0	・利用児の様子を考慮し、使用する部屋を決めています。		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	5	0	・職員との定期的な面談を実施し、個別の目標などを共有しています。また、気づいたことがあれば職員で共有し、改善に努めています。	・個ではなくチームで取り組む意識、継続した療育提供の向上に努めていきたい。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	0	・評価結果を職員間で共有し、検討した上で改善しています。また、日々の申し送りの際に話していただいたことを迅速に取り入れるようにしています。		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	0	・都度職員間で話し合い、業務改善に努めています。		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	0	5	・現在実施しておりません。今後、実施の予定が決まり次第、保護者に周知します。		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	5	0	・定期的な会社全体の内部研修、法定研修などに参加しています。また、校舎内でも研修を実施しています。		
適切な支援	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	5	0	・定期的なモニタリング、個別支援計画をもとに指導員が支援プログラムを作成している。また、申し送り時に内容説明を実施しています。	・個別支援計画の内容把握、質の安定した療育提供をしていきます。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	5	0	・職員間でのモニタリング会議や保護者との面談を通して、意向や発達段階を把握し必要な課題、ニーズを抽出した上で個別支援計画に反映しています。		
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5	0	・作成、更新の際にはモニタリング会議を実施し、児童発達支援管理責任者だけでなく、指導員の意見も取り入れ課題設定をおこなっています。		
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5	0	・職員間で支援プログラムを相談しあい、確認をおこないながら支援を提供しています。また、意見交換も積極的に起こっています。		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	4	1	・社内で使用しているアセスメントシートの他に、低学年児は発達支援評価ツールを使用し利用児の成長を把握しています。	・職員間での周知や確認がもっと必要だと感じています。	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	4	1	・モニタリング会議等で優先順位などを話し合い、利用児の将来を見据えた課題、目標を共有しています。	・個別支援計画への理解を深め、課題の共通理解を今後もおこないます。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5	0	・指導員1人ひとりの強みを大切にしながらも、本児の課題を踏まえた内容設定を実施しています。また、利用児に複数の指導員が支援をおこなっています。		

援 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	4	1	・都度、保護者の意見や利用児の意見を取り入れてい ます。また、利用児が楽しいと思える内容を心掛けていま す。	・スペースの関係もあり、運動面は固定になりやすいた めバリエーションを増やす工夫をしていきたい。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課 後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	5	0	・利用児のニーズに合わせて一緒に活動する機会を設け たり、イベントとして小集団活動を取り入れたりしてい ます。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の 内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っている か。	3	2	・前回支援を実施した指導員への確認や、社内ツールを 使用した情報伝達などを実施しています。	・じっくり話し合う機会があまり設けられていない。1 日の業務内容を見直し、改善に努めたい。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の 振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	2	3	・同上	・同上
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につ ながっているか。	5	0	・支援終了後に記録を作成、保存を実施しています。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの 必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5	0	・半年に1回モニタリングをおこない、報告や意見交換を おこなっています。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み 合わせて支援を行っているか。	4	1	・利用児と保護者の要望を含め、偏りがないよう支援内 容を決定しています。	・地域交流の機会の提供、余暇の提供に対する支援方 法を考え、工夫していきたい。
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定 をする力を育てるための支援を行っているか。	5	0	・利用児の要望、言葉を尊重し実施プログラムの変更を おこなう等、自己決定をする場面をつくっています。	
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、 そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5	0	・児童発達支援管理責任者と指導員1名でなるべく参加す ることができるよう努めています。また、難しい場合は 事前に利用児について話し合い、参加した者が説明でき るようにしています。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教 育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	4	1	・ケース会議や保育園訪問、学校見学など保護者のご要 望に応じて積極的に参加いたします。	・保護者への周知の必要性を感じています。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻 の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適 切に行っているか。	3	2	・送迎を実施していないため、学校と連絡を実施する機 会は殆どありませんが、保護者の同意を得て連携をとる ようにしています。	・保護者へ情報共有の打診など積極的におこなってい きたい。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定子ども園、児童発達支援 事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	4	1	・保護者の要望に応じて取り組んでいます。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等 へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している か。	4	1	・現在対象者はおりませんが、必要であれば保護者の同 意を得て実施していきます。	・放課後等デイサービス終了後の進路や福祉サービスに ついての知識を深め、提供していきたい。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスー パーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	2	3	・発達支援研究所より定期的に行われる研修や事例検 討会に参加し、助言をうけています。	・参加した研修についての周知、報告を確実に実施し知 識や療育について深めていきたい。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する 機会があるか。	1	4	・現在実施していません。	・保護者の要望等を考慮した上で検討していきたい。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	1	4	・なるべく参加できるよう日程調整を実施している。	・今年度は殆ど参加できなかったため、積極的に参加し 他事業所との交流に努めていきたい。
34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課 題について共通理解を持っているか。	5	0	・支援後の申し送りに加えて、要望に応じて個別面談も 実施しています。		
35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラ ム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会 や情報提供等を行っているか。	1	4	・支援見学や個別面談の際に、助言などを実施してい ます。	・保護者が参加できるような機会の設けていきたい。	
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っ ているか。	5	0	・契約時に説明をおこない、玄関にも掲示、閲覧でき るようにしています。また、個別に質問があった際には都 度、お答えしています。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思 の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや 家族の意向を確認する機会を設けているか。	5	0	・作成、更新の際には個別面談を実施し、意見交換や支 援をおこなった上での課題などを共有しています。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、 保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	5	0	・面談をおこない、課題やニーズの共通理解を得てか ら、今後の支援について説明し同意を得ています。	

保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5	0	・半年に1回の面談の他に要望に応じて面談の時間を設けています。また、申し送り時に助言などを実施し、回答が難しい場合は一度職員間で話し合いを実施しています。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	2	3	・小集団イベントに、きょうだい児が参加する機会を設けています。	・ファミリーカフェなど保護者向けのイベント、交流を企画していきたい。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5	0	・来所時、電話、LINEなど連絡方法を複数用意し、迅速に対応できるようにしております。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	5	0	・ブログやInstagram、LINEを利用し、日々の様子など情報発信をおこなっています。	・更新頻度や内容の充実をはかっていきたい。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5	0	・会社貸与のPCを使用し、書類なども退勤時にすべて鍵付きの書庫に保管しています。また、利用児の作成した制作も名前がわからないように掲示させていただいています。	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5	0	・本児の特性や発達に合わせ、視覚的な補正を入れるなど伝え方を配慮しています。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	0	5	・現在実施しておりません。今後、実施の予定が決まり次第、周知します。	
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5	0	・各種マニュアルを作成し、職員間で共有、いつでも閲覧できるようにしております。また、毎月1回防災訓練を実施しています。	・防災訓練内容の充実をはかります。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5	0	・同上	・同上
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	5	0	・年度当初、基本情報シートに記入いただき把握するとともに、変更など報告があった際には、情報の共有や基本情報シートの更新を実施しています。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	2	3	・基本的に、飲食の提供は実施していないため、医師の指示書などはいただいておりますが、イベントなど必要な場合は確認をとり把握しています。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	4	1	・各種マニュアルを作成し、職員間で共有、いつでも閲覧できるようにしております。また、毎月1回防災訓練を実施しています。	・個々の内容理解を深めていき、迅速な対応ができるよう努めていきたい。
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	4	1	・契約時に説明をおこない、実施した場合は保護者に周知をおこなっています。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5	0	・ヒヤリハットを作成した際には、必ず防止策や改善策を指導員間で話し合っています。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5	0	・定期的な研修の他に、チェックシートを毎月実施し防止に努めています。	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	5	0	・社内で決定した内容を契約時に説明し、同意を得てから実施しています。		